

日本語教室について

1 日本語指導教室とは

熊本市には「教育国際化推進連絡協議会」があり、帰国児童生徒、外国人児童生徒及び中国等帰国児童生徒の指導に当たっています。日本語指導並びに学習指導、生活適応指導等を行っています。令和5年度にこれまでのセンター校黒髪小学校に加えて拠点校として楠小学校、城南小学校にも日本語指導教室が設置されました。また令和6年度に桜山中学校が兼務校として、令和7年度に月出小学校が拠点校として設置されました。

2 指導内容

熊本市に住んでいる日本語指導が必要な子どもたちに日本語指導をしています。日本語指導者、日本語指導協力員、日本語指導支援員が協力して子どもたちへの通級指導や派遣指導（在籍学校に行つて学習）を行っています。日本語指導の内容は次のようなものです。

- (1) サバイバル日本語（あいさつ、生活に必要な単語など）
- (2) 日本語の基礎（文字 漢字 文型練習など）
- (3) 技能別日本語（話す 聞く 読む 書くの4技能をバランスよく）
- (4) 日本語と教科の統合学習（学習言語を理解するためのつなぎ）
- (5) 教科の補習（教科の学習の補充、学習方法の支援など）

日本語の学習以外にも 適応指導として日本の学校生活や日常生活に慣れるための教育相談なども行っています。

3 年間の行事

時期	行事名	内容
5月上旬	日本語指導開講式	日本語教室で学んでいる子どもたちが集まり自己紹介などして日本語教室がスタートします。
7月下旬	日本語指導担当者と学級担任との連絡会	在籍校の先生方と連携を密にするための会です。
2月下旬	日本語教室発表会 閉講式	子どもたちが一年間の成果を発表します。